

イベントの拠点となった中央生涯教育センターで笑顔をみせる真彩さん(左)と萌晏さん(右)



大好きな金ケ崎のために 今、自分たちにできることを全力で



ささきまあや
佐々木真彩さん(17歳)
すずきもあ
鈴木萌晏さん(17歳)

金ケ崎町在住

水沢高等学校2年。海外への短期留学をきっかけに町内でイベントを企画。真彩さんは英語、萌晏さんは俳句のイベントを開催。

「金ケ崎が好き」という思いから行動へ。2人の女子高生が自分たちが出来るまちづくりに向けて動きだした。それが真彩さんと萌晏さんだ。「私たちは自分たちを育ててくれている地域が好きだし誇りに思っています。その思いを形にしたいくてイベントを企画しました」と若き力の挑戦が始まった。真彩さんと萌晏さんは「TOMODACHIサマー」という短期留学に昨年参加。3週間アメリカで地域活性化などについて学んできた。その時「自分たちが金ケ崎のためにできることはなんだろう」と考えたことをきっかけに、好きなことを生かした地域貢献イベントをそれぞれ考案。真彩さんは英語の町金ケ崎を推進するため、中学生向けに海外でも使える英語を学ぶ「英語キャンプ」。萌晏さんは俳句を通じて金ケ崎の魅力を考える「俳句コンクール」を開催。「英語や海外に興味を持たたのは金ケ崎の英語教育のおかげ。少しでもその役に立てれば」と真彩さん。「人それぞれ金ケ崎で感じる魅力は違う。それを俳句を通じて町内の人にも外の地域の人にも知ってもらいたい」と萌晏さんは話す。

2人は「今後もいろんなことにチャレンジして金ケ崎って楽しそうと思ってもらえる活動をしたい。後輩たちにもそれを見て自分たちも何かやりたいと思えるきっかけにしてほしい」と次の目標に向かい目を輝かせていた。

広報日記



3月はコロナウイルスの影響でイベントも中止となり、広報担当として少し寂しいような気がしています。今年で広報を担当して3年。こんなにゆったりとした土日が続いているのかとソワソワしながらも、ありがたく休日を家で満喫しているところです。しかし、中止が続くと広報で皆さんの笑顔を届けることができないうので早い収束を願うばかりです。

また、3月号の編集を終え今年度も無事1年間広報を発行することができました。取材協力、読んでくれた皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。(阿部)

人口と世帯		2月29日現在	
		※()内は前月比	
人口	15,586人	(-49)	
男	7,945人	(-26)	
女	7,641人	(-23)	
世帯数	6,080世帯	(-46)	

